

---

## 1. 短期予測

(p. 01)

- ① GMショック→米金融ショックの可能性
- ② ローマ法王ユダヤ人説
- ③ コーラン冒瀆記事のフセイン・パンツ写真
- ④ JR西日本の大事故は野中氏に打撃か？
- ⑤ 米ドル下落と人民元上昇

## 2. 展望①反テロ戦争の本質

(p. 08)

### －経済の南北統合とそれに対する政治的反応－

アメリカの対テロ戦争も、支那の反日暴動も、同じ根源から発生してきた二つの異なる現象である。北（先進国）と南（低開発国）の経済は今、徐々にではあるが統合しつつある。この基本的経済トレンドに対して、南北双方で強烈な政治的・文化的反動（＝反応）が起きている。アメリカの対テロ戦争も、支那の反日暴動も、この経済の南北統合に対する、政治的・文化的反動（反応）の各国における“表れ”である。それは経済グローバリズムに対する大衆の反逆といってもよい。

## 3. 展望②米国内イスラエル・ロビーの動向

(p. 11)

### 1. 米国最大のイスラエル・ロビーAIPACの動向

昨年来続いていた米連邦捜査局（FBI）による米国最大のイスラエル・ロビー団体「アメリカ・イスラエル公共問題委員会（AIPAC）」に対する捜査は、5月4日、大きな転換点を迎えた。

### 2. 知られざるジョン・ボルトンとイスラエルの関係

5月12日、米国の時期国連大使に指名されたジョン・ボルトン国務次官に対する指名承認審議が、米上院外交委員会で行われたが、賛否を表明せずに上院本会議に上程されるという異例のケースとなった。

## 4. 展望③ロシアにおけるユダヤ問題

(p. 18)

---

現代ロシアの国内政治及びその対外政策とユダヤファクターの関連性については、一部の専門家を除いて、殆ど認識されておらず、また、この点に言及した書籍も皆無といってよい。よって今回は、現代ロシアの国内政治及びその対外政策とユダヤファクターの関連性について、筆者なりのフレームワーク（仮説）を提示してみた。

---